

1. 施設整備計画の名称

橋本市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

平成28年度～平成30年度（3年間）

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

本計画終了後、当該施設利用者に聞き取りを行い、事後評価を実施した。

(2) 評価の方法

事業完了後、施設利用者から意見、評価等を聴取し、その結果を踏まえて事後評価を行った。また、次期施設整備計画の内容についても検討を実施した。

4. 総合的な所見

本計画期間における事業については、計画どおりに実施することができ、一定の成果を得たものとする。次年度以降も教育環境の質的向上を図るとともに、施設の老朽化対策や防災機能強化の取り組みを計画的に実施していきたい。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策をR1年度中

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

応其小学校の校舎については長寿命化改良事業を実施し、外壁・屋上防水・教室・トイレ・廊下等全面改修を行うことで、建物の耐久性を高めることができた。

また、学文路小学校の校舎および屋内運動場において、大規模改造事業(老朽)を実施し、外壁・屋上防水・教室・トイレ・廊下等の改修を行い、教育環境の改善を図ることができた。

今後、築30年を超える老朽化施設が一斉に更新時期を迎える状況であり、平成30年度に策定した「橋本市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的に整備を進めていく。

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

応其小学校の屋内運動場について、非構造部材(外壁)改修を実施し、防災機能の強化を図ることができた。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

新学校給食センターを建設し、老朽化が著しかった橋本学校給食センターと高野口学校給食センターの2つの共同調理上を統合し、ドライシステム方式の採用、アレルギー除去食の提供も可能となり、給食内容の充実を図るとともに安全・安心な給食の提供を実現した。

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

令和元年度中に入札により譲渡(売却)予定

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業 区分	整備方針				事業完了 年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物 区分	構造 区分	全事業期間 (契約～完成)			
応其小学校(Ⅰ期工事)	(1)	02	長寿命化改良事業	校	R	H29.1～H29.3	H30.3.13		
応其小学校(Ⅱ期工事)	(1)	02	長寿命化改良事業	校	R	H29.5～H30.3	H30.10.17		
学文路小学校(Ⅰ期工事)	(1)	06	大規模改造(老朽)	校	R	H29.1～H29.3	H29.12.19		
学文路小学校(Ⅰ期工事)	(1)	06	大規模改造(老朽)	屋	R	H29.1～H29.3	H29.12.19		
学文路小学校(Ⅱ期工事)	(1)	06	大規模改造(老朽)	校	R	H29.5～H30.3	H30.11.1		
学文路小学校(Ⅱ期工事)	(1)	06	大規模改造(老朽)	屋	R	H29.5～H30.3	H30.11.1		
応其小学校	(2)	36	防災機能強化	屋	R	H29.1～H29.3	H30.3.13		
橋本市学校給食センター	(5)	22	共同調理場(新增築)	-	S	H29.1～H29.3	H30.3.9		
橋本市学校給食センター	(5)	23	共同調理場(改築)	-	S	H29.1～H29.3	H30.3.9		R1年度中に譲渡(売却)予定